

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
(コード番号：8732 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長
宇留野 真澄
(TEL. 03-4540-3804)

2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績速報値に関するお知らせ

2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信（連結）につきましては、10月31日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績速報値（2024年4月1日～2024年9月30日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益
2025年3月期 第2四半期（速報値）	3,006	457	459	316
2024年3月期 第2四半期（実績）	2,743	575	567	385
増減率（%）	9.6	△20.6	△19.0	△17.9
2024年3月期 （実績）	5,626	1,074	1,060	708

当社グループは、金融商品取引業（外国為替証拠金取引業）を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

2. 前第2四半期実績と当第2四半期速報値との差異の理由

外国為替相場の変動率が前年同期に比べて高い水準であったこと、スプレッド縮小施策を更に推し進めたこと等の営業施策によりトレーディング損益が増加し、営業収益は3,006百万円（前年同期比262百万円増加、9.6%増）となりました。

マネパカード事業からの撤退に伴い支払手数料が減少した一方、将来的なコスト削減等を目的とした基幹システムのクラウド化に向けた費用として器具・備品費が増加したことに加え、営業上の施策により広告宣伝費が増加したこと等により、営業費用は2,549百万円（同381百万円増加、17.6%増）となりました。

これらの結果、営業利益は457百万円（同118百万円減少、20.6%減）、経常利益は459百万円（同107百万円減少、19.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は316百万円（同69百万円減少、17.9%減）となりました。

（注）営業費用は売上原価、金融費用、販売費・一般管理費の合計

以 上